

# 中学校第3学年 国語科学習指導案

## 単元名：豊かな言葉

指導者 府中市立府中明郷中学校 木谷 淳

- |   |   |   |                         |       |
|---|---|---|-------------------------|-------|
| 1 | 日 | 時 | 平成26年 6月17日(火) 2校時      |       |
| 2 | 場 | 所 | 東棟2階 国語科教室              |       |
| 3 | 学 | 年 | 第3学年2組(男子15人 女子6人 計21人) |       |
| 4 | 単 | 元 | 名                       | 豊かな言葉 |

### 単元について

#### ○ 単元観

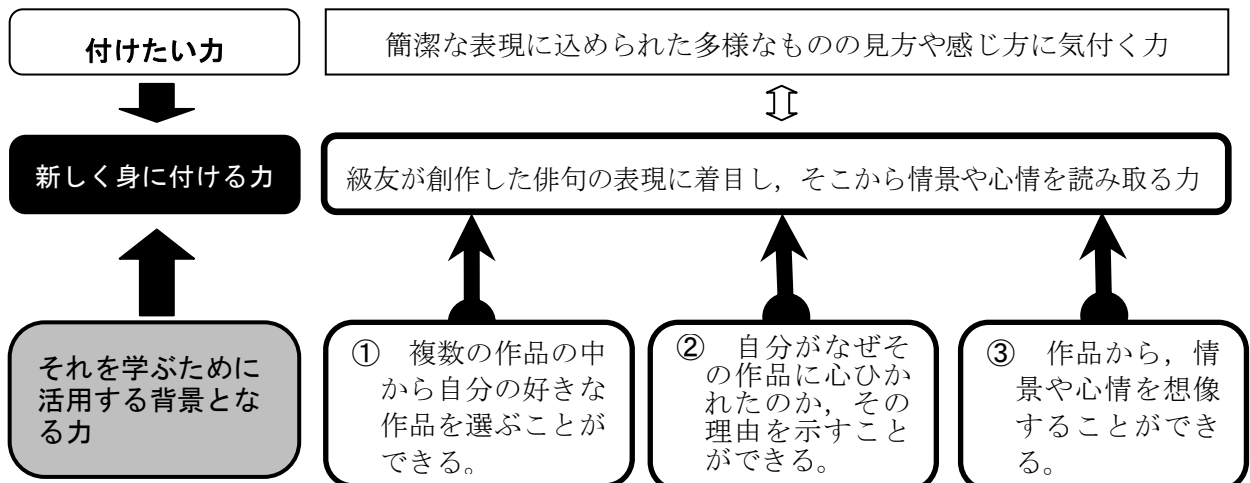
本単元に関わる学習指導要領における目標及び内容は次のとおりである。

- |      |   |
|------|---|
| 1    | 目標  |
| 読むこと | 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。   |
| 書くこと | 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。   |
| 2    | 内容  |
| 読むこと | (1) ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。<br>ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。                                      |
| 書くこと | (1) エ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めること。<br>第2学年(2)ア 表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりすること。 |

本単元「豊かな言葉」は、俳人である筆者による解説文「俳句の可能性」と、「俳句十六句」によって構成されており、小学校における文学作品の鑑賞や創作を基礎として、中学校1年の「はじめての詩」「詩四編」、中学校2年「新しい短歌のために」「短歌十二首」を踏まえて配置されている。

解説文「俳句の可能性」では、いくつかの俳句作品を例に、俳句の形式や約束事についてわかりやすく説明されており、近・現代俳句の概要と基礎的な知識を把握することができる。また、「俳句十六句」には十六人の俳人の個性豊かな作品が置かれており、俳句のさまざまな魅力を感じ取ることができる構成となっている。そして、そこで学んだことを生かして実際に俳句を創作し、またそれを互いに鑑賞し合うという学習活動を行う。そのことを通して、世界的にも広く知られた短詩型文学である俳句の表現力の可能性に着目させ、簡潔な表現に込められた多様なものの見方や感じ方に気付かせるのに適した教材である。

#### 【本時を中心とした付けたい力】



○ 生徒観

本生徒は、小学生時から多様な文学作品に触れ、鑑賞や創作を行ってきた。中学校に入学してからも、1年時における「はじめての詩」「詩四編」、2年時における「新しい短歌のために」「短歌十二首」で、鑑賞や創作に取り組んできた。

本単元を扱う上で、生徒の実態を把握するため、次のようなレディネステストを実施した。なお、下表の丸数字は、上記「単元観」図中の丸数字に対応している。

① A～Fの短歌の中からもっとも心ひかれた一首を選びましょう。
② その短歌を選んだ理由を書きましょう。
③ その短歌からどのような情景や心情が心に浮かんだか書きましょう。

上記レディネステストから、本時を中心とした既有知識や背景知識の獲得状況を、下表のように層レベルに分類した。(欠席生徒が1人いたため、20人)

【第3レベル】 作品中の表現に着目して、情景や心情を想像することができる。	5人
【第2レベル】 作品全体から情景や心情を想像することができる。	15人
【第1レベル】 複数の作品の中から自分の好きな作品を選び、理由を示すことができる。	20人

複数の作品の中から自分の好きな作品を選び、理由を示すことについては全員ができていたが、作品中の表現に着目して情景や心情を想像することができた生徒は5人(25%)であった。作品全体から情景や心情を想像することができていた生徒は15人(75%)おり、自分がそのように想像した根拠を問うことによって、表現に着目することができるようになるものと考えられる。

○ 指導観

俳句中の表現に着目して心情や情景を読み取り、簡潔な表現に込められた多様なものの見方や感じ方に気付く力を育成するため、次のような工夫をする。

① 単元を貫く言語活動とその特徴について

本単元では、読むこと第2学年言語活動例ア「詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること」を仕組み、実際に自分たちが創作した俳句を選評することを言語活動として設定した。この活動例は第2学年に示されているが、第3学年においても有効な活動である。

この言語活動の特徴は、自分たちが創作した俳句を選評する中で他の人のものの見方や考え方に触れ、自分のものの見方や感じ方を広げることができる点にある。この活動により、俳句中の表現に着目して心情や情景を読み取り、簡潔な表現に込められた多様なものの見方や感じ方に気付く力を育成することができる。また、個人の意見は尊重しながらも、班として推す作品を決定するための話し合いを通して、自分のものの見方や考え方を広げることができ、思考力や判断力の育成にもつながると考え、本言語活動を設定した。

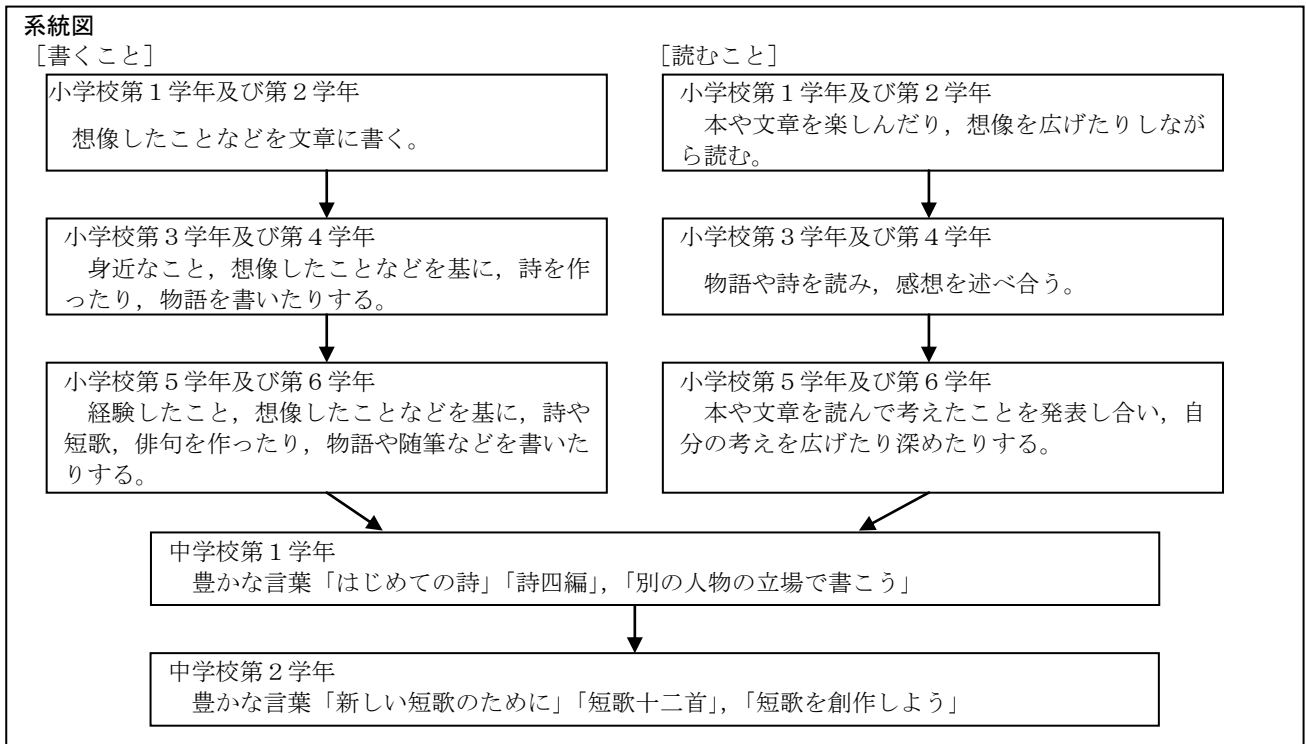
② ねらいに迫る手立ての工夫について

俳人である筆者による解説文「俳句の可能性」によって近・現代俳句の概要と基礎的な知識を把握させた後、「俳句十六句」を鑑賞する活動を取り入れ、その後、実際に自分たちで俳句を創作して、それを選評するという言語活動を設定する。このように段階的な学習手順を踏むことによって、前時の学習内容をモデルとして次の学習活動に取組みやすくなるものとする。また、俳句を創作させる際には、生徒の抵抗感を低減し、取組みやすさを高めるため、共通の結句を設定する。このことによって、選評の際の観点もわかりやすくなり、俳句の中の表現や言葉により着目しやすくなる。そして、最終的に、自分たちが創作した俳句を対象に鑑賞、選評を行う学習活動を仕組むことで俳句をより身近なものとして感じさせ、生徒の学習意欲を高めることができるものとする。

③ 個に応じた支援について

【生徒A】 文の意味を読み取ることに苦手意識をもっている。学習態度は真面目であり、自分の考えを書くことはできる。したがって、自分が書いた内容の根拠となる表現を丁寧に追いかけることで、自分がどの表現に着目したのかわかるようにさせる。

○ 学習内容の関連（単元の系統性）



単元の目標・評価規準

単元の目標

- 俳句を読む楽しさを知り、想像を働かせながら読み味わおうとする。（国語への関心・意欲・態度）
- 表現の仕方を工夫して、俳句を創作する。（書くこと）
- 俳句を読み、季語や切れ字に注意しながら、具体的な言葉や表現に即して心情や情景を想像する。（読むこと）
- 俳句を選評する中で自分とは違うものの見方や考え方に触れ、自分のものの見方や感じ方を広げる。（書くこと）
- 作品に表れたものの見方や考え方に触れ、作者の思いなどを想像することができる。（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
○ 複数の俳句から心ひかれたものを選ぼうとしている。	○ 俳句を読んで、自分が心ひかれた言葉や表現を書き表している。 ○ 表現の仕方を工夫して、俳句を創作している。	○ 俳句の基本的な形式や約束事を理解している。 ○ 鑑賞文中に示された五つの俳句に詠まれた心情や情景を読み取っている。	○ 作品に表れたものの見方や考え方に触れ、作者の思いなどを想像している。

	○ 俳句を選評する中で自分とは違うものの見方や考え方に気づき、自分のものの見方や感じ方を広げている。	○ 「俳句十六句」の中から心ひかれる句を選び、表現に即して心情や情景を想像している。	
--	--	--	--

## 指導と評価の計画

(全5時間)

次	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	評価の観点				評価の方法
				関意態	書く	読む	言語	
1	俳句と鑑賞文を読み、俳句の基本的な形式や約束事を理解して、五つの俳句に詠まれた心情や情景を読み取る。	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品に表れたものの見方や考え方に触れ、作者の思いなどを想像している。</li> <li>俳句の基本的な形式や約束事を理解している。</li> <li>鑑賞文中に示された五つの俳句に詠まれた心情や情景を読み取っている。</li> </ul>			◎	◎	○ 観察 発表 ノート
	「俳句十六句」を読み、言葉や表現に即して心情や情景を想像し、心ひかれたものを一つ選ぶ。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の俳句から心ひかれたものを選ぼうとしている。</li> <li>俳句を読んで、自分が心ひかれた言葉や表現を書き表している。</li> <li>「俳句十六句」の中から心ひかれる句を選び、表現に即して心情や情景を想像している。</li> </ul>	○	◎		◎	観察 発表 ワークシート
2	提示されたテーマに従って、表現の仕方を工夫して俳句を創作する。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現の仕方を工夫して、俳句を創作している。</li> </ul>		◎			観察 俳句作品
3	俳句を選評する中で自分とは違うものの見方や考え方に触れ、自分のものの見方や感じ方を広げる。 <b>【本時】</b>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の俳句の中から心ひかれたものを選ぼうとしている。</li> <li>俳句を読んで、自分が心ひかれた言葉や表現を書き表している。</li> <li>俳句を選評する中で自分とは違うものの見方や考え方に気づき、自分のものの見方や感じ方を広げている。</li> </ul>	○		◎	◎	観察 発表 ワークシート

## 本時の学習

(1) 本時の目標

俳句を選評する中で自分とは違うものの見方や考え方に気付き、自分のものの見方や感じ方を広げる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)	
<b>1 前時の学習の想起 課題意識を持たせる 授業の流れを確認する</b>			
5分	○ 前時に創作した俳句を概読する。	◇ 創作した俳句を印刷したワークシートを配付する。	
<b>2 本時のめあてを確認する</b>			
5分	言葉や表現に着目して心ひかれる俳句を選び、選評しよう。	◇ 「個人で選び、選評する」→「班で選び、選評する」→「全体で発表」→「大賞決定」という学習の流れを理解させる。 ◇ 個人選出は1票分、班で選出したものは2票分というルールを説明する。	
<b>3 個人思考・集団思考</b>			
35分	<p><b>個人思考</b></p> <p>○ 言葉や表現に着目して心ひかれる俳句を選び、「心ひかれた言葉や表現」「そこから想像した情景や心情」「この俳句のよさ」について記述する。</p> <p><b>班学習</b></p> <p>○ 一人一人が選んだ俳句と選んだ理由、心ひかれた言葉や表現を出し合い、班で推す俳句を決定する。</p> <p><b>全体交流</b></p> <p>○ 自分たちの班が選んだ俳句と選んだ理由、心ひかれた言葉や表現について、班の代表が発表する。</p>	<p>◆ 言葉や表現に着目することができず、漠然としたイメージにとどまっている生徒には、そのように感じた根拠となる表現を丁寧に追いかけて、自分がどの表現に着目したのかわかるようにさせる。</p> <p>◇ 他の班員の意見で、自分にとって新鮮だと思ったものについてはワークシートに書き記しておくよう指示をする。</p> <p>◇ 各班員の選出結果を集約させておく。</p> <p>◇ 班で選んだ俳句とその選評について、だれでも班の代表として発表することができるよう準備させておく。</p> <p>◇ 各班員が選出した結果を発表させた後に班で選出した俳句を発表させ、理由や着目した言葉や表現について、キーワードとなるものを板書する。</p> <p>◇ 他の班の発表で、自分にとって新鮮だと思った意見についてはワークシートに書き記しておくよう指示をする。</p>	<p>・複数の俳句の中から心ひかれたものを選ぼうとしている。[関心・意欲・態度] (観察)</p>
<b>4 学習のまとめ</b>			
5分	<p><u>生徒のまとめ例</u></p> <p>自分なりに根拠を挙げて心ひかれた俳句を選ぶことができた。自分とは全く違う見方をしている人もいて、そういう見方もあるんだなあと思った。</p>	<p>・俳句を読んで、自分が心ひかれた言葉や表</p>	

	<p>○ 本時を振り返る。</p>	<p>◇ 本時の選出結果を基に，他学級のものも併せて整理し直し，後日俳句集として配付することを伝える。</p>	<p>現を書き表している。        [書く]        (ワークシート)        ・俳句を選評する中で自分とは違うものの見方や考え方に気付き，自分のものの見方や感じ方を広げている。        [書く]        (ワークシート)</p>
--	-------------------	---	--

(3) 板書計画

(※得票の結果を示す。)

(※班の代表の発表から、理由や着目した言葉や表現について、キーワードとなるものを板書する。)

.....

生徒俳句作品

言葉や表現に着目して心ひかれる俳句を選び、選評しよう。